調達要求番号：

陸　上　自　衛　隊　仕　様　書			
物品番号		仕　様　書　番　号	
高機動車		ＧＷ－Ｄ０１１００１Ｓ	
		防衛大臣承認	平成　５年　２月２４日
		作　　成	平成　５年　２月　８日
		変　　更	平成２４年　８月２８日
		作成部隊等名	補給統制本部　火器車両部

1　総則

1.1　適用範囲

この仕様書は，陸上自衛隊において使用する高機動車（以下，“車両”という。）について規定する。

1.2　用語及び定義

この仕様書で用いる用語及び定義は，次によるほか，ＪＩＳ Ｄ ０１０１，ＪＩＳ Ｄ ０１０２及びＧＬＴ－ＣＧ－Ｚ０００００１による。

1.2.1

空車状態

車両に燃料，潤滑油，冷却水などを全量搭載し，携行工具，附属品及び予備品を取付位置などに収納した状態をいう。ただし，タイヤチェーン，燃料携行缶，洋形おの，ショベル及びバチツルハシは，含まないものとする。

1.2.2

最大積載状態

空車状態の車両に，操縦手１名（８０ ｋｇ），助手１名（８０ ｋｇ）及び最大積載質量１ ３５０ ｋｇの荷物を均等に積載した状態をいう。

1.3　製品の呼び方

製品の呼び方は，調達要領指定書によって指定する場合を除き，高機動車とする。

1.4　引用文書

この仕様書に引用する次の文書は，この仕様書に規定する範囲内において，この仕様書の一部を成すものであり，入札書又は見積書の提出時における最新版とする。

a)　規格

ＪＩＳ Ａ ８９０２	ショベル及びスコップ
ＪＩＳ Ｂ ４６０４	モンキレンチ
ＪＩＳ Ｂ ４６０９	ねじ回しーすりわり付きねじ用
ＪＩＳ Ｂ ４６１４	コンビネーションプライヤ
ＪＩＳ Ｂ ４６３０	スパナ
ＪＩＳ Ｂ ４６３３	十字ねじ回し
ＪＩＳ Ｃ ７５０６－１	自動車用電球類－第１部：寸法，電気的・光学的初特性
ＪＩＳ Ｄ ０１０１	自動車の種類に関する用語
ＪＩＳ Ｄ ０１０２	自動車用語－自動車の寸法，質量，荷重及び性能
ＪＩＳ Ｄ １０１１	自動車スピードメーター校正方法
ＪＩＳ Ｄ １０１２	自動車－燃料消費率試験方法

ＪＩＳ Ｄ １０１４	自動車加速試験方法
ＪＩＳ Ｄ １０１５	自動車－惰行試験方法
ＪＩＳ Ｄ １０１６	自動車最高速度試験方法
ＪＩＳ Ｄ １０１７	自動車－急坂路試験方法
ＪＩＳ Ｄ １０１８	自動車長坂路試験方法
ＪＩＳ Ｄ １０２２	自動車運行試験方法
ＪＩＳ Ｄ ５３０１	始動用鉛蓄電池
ＪＩＳ Ｄ ６６０５	トラックトラクタ及びトレーラ用エアブレーキカップリング
ＪＩＳ Ｄ ６６０６	トラックトラクタ及びトレーラ用７極電線カップリング
ＪＩＳ Ｄ ８２０１	自動車用タイヤゲージ
ＪＩＳ Ｋ ５５７２	フタル酸樹脂エナメル
ＪＩＳ Ｋ ５６５１	アミノアルキド樹脂塗料
ＪＩＳ Ｒ ３２１１	自動車用安全ガラス
ＮＤＳ Ｚ ８０１１	角形銘板
ＮＤＳ Ｚ ８２０１	標準色

b) **仕様書**

ＤＳＰ Ｚ １００５	燃料携行缶
ＧＳ－Ｃ２１４４８０	車両無線機
ＧＳ－Ｃ２０４４９２	車両無線機空中線
ＧＬＴ－ＣＧ－Ｚ０００００１	陸上自衛隊装備品等一般共通仕様書

c) **制式要綱**

Ｇ ２０５１	８５式野外無線機

d) **法令等**

自衛隊の使用する自動車に関する訓令（昭和４５年防衛庁訓令第１号）
技術変更提案の処理について（通達）［陸幕装計第７２号（１０．３．６）］

2 製品に関する要求

2.1 一般的要求事項

一般的要求事項は，次による。

a) 本車両は，－３０℃～＋４０℃の外気温において，この仕様書に規定する性能などを満足させ，過酷な使用条件に十分耐え得る構造とする。

b) 材料及び部品は，原則として，日本工業規格（以下，“ＪＩＳ”という。），防衛省規格，防衛省仕様書又は同等品以上とし，かつ，製造者の社内規格に合格したものとする。

2.2 部品・付加材等・工具類の互換性

官側で保有する部品，付加材等及び工具類の使用に，極力互換性があるものとする。

2.3 構造・形状・寸法・質量

2.3.1 構造

構造は，調達要領指定書によって指定する場合を除き，2.1及び**表5**によるほか，“自衛隊の使用する自動車に関する訓令”（以下，“訓令”という。）に適合するものとする。

なお，細部については，承認図面による。

2.3.2　形状・寸法

形状及び寸法は，**図1**を標準とする。

なお，細部については，承認図面による。

2.3.3　質量

質量は，**表1**を標準とする。

表1－質量

単位　ｋｇ

区分	規定
空車質量	２　７００
最大積載状態の質量	４　２１０

2.4　外観・性能

2.4.1　外観

外観は，次による。

a)　きず，割れ，まくれ，錆，塗装の剥離その他使用上有害な欠陥があってはならない。

b)　各部の塗装及びめっきに有害なむらがあってはならない。

2.4.2　性能

性能は，平たんな舗装路面上において**表6**の試験方法によって試験したとき，**表2**による。

表2－性能

項目		規定
最大安定傾斜角		右側及び左側に４３度未満の傾きで転覆してはならない。
走行性能	運行性能	異常があってはならない。
	最小旋回半径	６．５ ｍ以下とする。
	渡渉能力	水位８０ ｃｍでの走行が可能とする。
	航続距離	５６０ ｋｍ以上
	速度計目盛調べ	訓令の規定に適合するものとする。
	燃料消費率	７ ｋｍ／Ｌ以上（６０ ｋｍ／ｈ時）
	ブレーキ装置性能	訓令の規定に適合するものとする。
	加速能力	発進加速１００ ｍで１１秒以下
	惰行能力	異常があってはならない。
	最高速度	１００ ｋｍ／ｈ以上
	登坂能力	６０ %（ｔａｎ）以上
	最低速度	４ ｋｍ／ｈ以下
	騒音	訓令の規定に適合するものとする。
	排気	
路外走行性能	軟弱地克服能力	最大積載状態において，車両コーン指数　５４以下
	超ごう（壕）能力	７５ ｃｍ以上
	超堤能力	５０ ｃｍ以上

表2－性能(続き)

項目	規定
機能	異常があってはならない。
接近角	５０度以上
背離角	４５度以上

2.5　塗装

塗装は，十分な防錆処理をして下塗りを行った後，次の上塗りを行うものとする。

なお，調達要領指定書によって指定する場合を除き，車体部の色見本を提出するものとする。

a)　車体（バンパを含む。）は，調達要領指定書によって指定する場合を除き，次のいずれかによって塗装するものとし，塗色については，ＮＤＳ　Ｚ　８２０１による色番号2314（ＯＤ色7.5Y3/1）とする。

1)　ＪＩＳ　Ｋ　５５７２の半つや外部用又は同等品

2)　ＪＩＳ　Ｋ　５６５１の半つや外部用又は同等品

b)　シャシ（ディスクホイールを含み，機関，動力伝達装置，制動装置，排気管，消音器などを除く。）は，黒色とし，契約の相手方の仕様によって塗装するものとする。

c)　機関，動力伝達装置，制動装置，排気管，消音器などは，調達要領指定書によって指定する場合を除き，契約の相手方の仕様によって塗装するものとする。

d)　荷台床面は，滑り止め処理を施すものとする。

2.6　製品の表示

製品の表示は，ＧＬＴ－ＣＧ－Ｚ０００００１の2.3によるものとし，操縦室内の見やすい箇所にＮＤＳ　Ｚ　８０１１の１種銘板を取り付けるほか，取扱上注意を要する箇所及びけん引に関する注意事項を記入した銘板を，操縦室内の見やすい箇所に取り付けるものとする。

なお，細部については，承認図面による。

2.7　標識・自動車番号標

標識及び自動車番号標は，訓令による。

3　品質保証

3.1　保証範囲

官側において，2.2の付加材等を取り付けて運用したことに起因する不具合については，品質保証の範囲外とする。

3.2　監督・検査

監督及び検査は，契約担当官等（以下，“担当官”という。）が定める監督・検査実施要領による。

4　出荷条件

出荷条件は，調達要領指定書によって指定する場合を除き，商慣習による。

5　その他の指示

5.1　サービス網

補給・整備性の向上を図るため，全国にサービス拠点を有し，納地に対して対応ができるものとする。

5.2　携行工具・附属品・予備品

携行工具，附属品及び予備品は，調達要領指定書によって指定する場合を除き，**表7～表9**による。

5.3　承認用図面等

契約の相手方は，2.3，2.5及び2.6に基づき承認用図面及び色見本を作成し，担当官の承認を受けるものとする。

なお，作成及び提出の要領は，ＧＬＴ－ＣＧ－Ｚ０００００１の2.2及び箇条6による。

5.4　納入書類

5.4.1　添付書類

添付書類は，調達要領指定書によって指定する場合を除き，車両１両ごとに，**表3**による。

表3－添付書類

名称	数量	注記
取扱説明書	各１	ＧＬＴ－ＣＧ－Ｚ０００００１の7.1による。
納入装備品等のかしに関する契約条項		ＧＬＴ－ＣＧ－Ｚ０００００１の7.4による。

5.4.2　申請書類

契約の相手方は，訓令に基づく適用除外申請のため，次に示すうち，a)及びb)各４部を，契約後速やかに担当官を経て，調達要求元に提出するものとする。ただし，調達要領指定書によって指定する場合に限り，c)～e)に示す書類を，提出するものとする。また，型式及び構造が同様である車両を既に納入している場合は，書類の提出を省略することができる。

a)　主要諸元表

b)　外観四面図

c)　原動機性能曲線図

d)　走行性能曲線図

e)　主要部強度計算書

5.4.3　提出書類

提出書類は，調達要領指定書によって指定する場合，**表4**による。

表4－提出書類

品名	時期	部数	納入先	注記
取扱説明書	納入時	a)	a)	ＧＬＴ－ＣＧ－Ｚ０００００１の7.1による。
写真				前方，後方，左右側方（キャビネ版）
注a)　部数，納入先及び提出の要領（書類又は電子媒体）は，調達要領指定書によって指定する。				

5.5　技術変更提案

契約の相手方は，自らの発意又は担当官の指示によって，技術変更をする場合は，“技術変更提案の処理について（通達）”の別冊に基づき，担当官に提出するものとする。

5.6　その他

その他は，次による。

a)　契約の相手方は，この仕様書に疑義が生じた場合は，担当官の指示を受けるものとする。

b)　契約の相手方は，検査資料その他必要な技術資料を官側の要求によって閲覧に供するものとする。

表5－構造

項目			規定
機関	種類及び形式		４サイクル　水冷ディーゼル直接噴射式　吸気冷却式過給機付き 後処理装置は設けないものとする。
	最大出力		約１２５　ｋＷ／２　８００　ｍｉｎ$^{-1}$
	最大トルク		約４３１　Ｎ・ｍ／１　６００　ｍｉｎ$^{-1}$
	充電発電機		交流式　２４　Ｖ－８０　Ａ
	始動電動機		ピニオンシフト式　２４　Ｖ－５　ｋＷ
	燃料タンク		樹脂製　容量約１０８　Ｌ
	蓄電池		ＪＩＳ　Ｄ　５３０１の始動用鉛蓄電池　１０５Ｄ３１Ｒ×２
動力伝達装置	駆動方式		フルタイム　４ＷＤ
	変速機		４速ロックアップ付き　オートマチックトランスミッション　空冷オイルクーラー付き　電子制御遊星歯車式　シフトロック機構付き リバース警報装置付き
	トルクコンバータ		３要素１段２相形（ロックアップ機構付き）
	副変速機		２段センターデフ式（デフロック付き）
	ハブリダクション装置		減速比　１．６９
	ディファレンシャル装置		前・後ロック付き リミテッドスリップデフ（トルセン）デフ比３．４６１
懸架・走行装置	前・後車軸		ダブルウィッシュボーン式独立懸架　アッパートーションバー方式
	タイヤ		３７×１２．５０Ｒ　１７．５ＬＴ（ラジアルチューブレス） ランフラット（回転中子式）　リヤタイヤ空気圧調整装置付き
	リム		１７．５×８．２５
かじ取り装置	倍力装置		油圧式（ダイレクト駆動型オイルポンプ） 車速感応型
	後輪操舵		だ角応動タイプ　４ＷＳ　（０－逆相）
制動装置	常用ブレーキ		油圧真空倍力装置付き（ダイレクト駆動型バキュームポンプ） ４輪ディスクブレーキ　インボード型ロードセンシングプロポーショニングバルブ付き
	駐車ブレーキ		センターブレーキ方式（ドラム）
	補助ブレーキ		排気管開閉弁式排気ブレーキ
車枠	形式		はしご形
	断面形状		箱形
車体	形式		ボンネット形　低姿勢化可能形
	座席	操縦手席	ヘッドレスト付き前後位置調整式セパレートシート　背当裏部蓋付きポケット付き　背当部可倒式（前・後）　シートスライド量１６０　ｍｍ
		助手席	ヘッドレスト付きセパレートシート　背当裏部蓋付きポケット付き 座面取り外し式
		後部席	２点式安全バンド付き折り畳み式ベンチシート（８名分）
		座席ベルト	第二種　ＥＬＲ付き（前席２名分）

表5－構造（続き）

項目			規定
車体	前窓		前倒しが可能な構造で，窓ガラスは，ＪＩＳ Ｒ ３２１１の合わせガラスＡとする。
	サイドドア		スライド昇降窓付き鋼製ドア内張りとし，キーシリンダ及びロック機能を設けるものとする。 なお，ドアは，取り外し可能な構造とする。 窓ガラスは，ＪＩＳ Ｒ ３２１１の強化ガラスとする。
	後部ドア		観音開き式上部ほろ製（開閉可能な透明ビニル製の窓付き）下部鋼製キーシリンダ及びロック機能を設けるものとする。
	ほろ骨		鋼管製とし，後部座席床面からの高さが中央で約１ ３５０ ｍｍ（ほろ張力調整機構付き）のものを取り付けるものとする。 なお，ほろ骨は，取り外しができるものとする。
	車両用ほろ		ビニロン・ポリエステル交織帆布１０号（ＯＤ色）とし，両側面は，巻上げ可能な構造で，取り外しができる透明ビニル製の窓付きとする。また，開閉式の天窓を上部に設けるものとする。 なお，生地の伸縮に対応可能な構造とする。
	安全バンド		前側部左右ドア及び後部ドアの内側部に，各々取り付けるものとする。
	安全ネット		前席中央部と荷台部との間に取り付けるものとする。 なお，取り外し可能な構造とする。
	サンバイザ		操縦手席及び助手席の前面上部に各１個設ける。
	ラジオ		操縦手席及び助手席の中央部付近に１個設けるものとし，ラジオ用アンテナは，着脱ができる構造のものとする。
	灰皿		操縦手席及び助手席付近に各１個設ける。
	マップランプ		助手席付近に１個設ける。
	リヤフォグランプスイッチ		プッシュ式とする。
	暖房器	フロント部	温水式　容量約１５ ８４０ ｋＪ／ｈ
		リア部	温水式　容量約１３ ０００ ｋＪ／ｈ　プロテクタガード付き
	その他		1　消火器及び非常信号灯（**表8**による。）の取付具を，操縦室内の適宜の位置に取り付けるものとする。 2　マッドガード（**表8**による。）を，車体後部左右の適宜の位置に取り付けられる構造とする。

表5－構造（続き）

項目			規定		
灯火類	前照灯		ＪＩＳ Ｃ ７５０６－１	JA24 V 75/70 W	２個
	補助前照灯		の自動車用電球	A24 V 35 W	２個
	車幅灯			24 V 6 W	２個
	番号灯			A24 V 12 W	２個
	制動灯兼尾灯			A24 V 25/10 W	２個
	後退灯			A24 V 25 W	２個
	後部	霧灯		A24 V 25 W	１個
	方向指示器	前面		A24 V 25 W	２個
	兼	後面		A24 V 25 W	２個
	非常点滅灯	側面前部		24V 5 W(R5 W)	２個
	管制灯	運転灯		A24 V 25 W	１個
		車幅灯	24 V 6 W×2 （乳白色＋ブラックスモーク）		
		尾灯	24 V 6 W×2 （赤色）		
		制動灯	24 V 6 W×2 （乳白色＋ブラックスモーク）		
	室内灯		操縦室付近に１個設ける。		
	反射器	後面	２個		
		側面前部	２個		
視野	後写鏡		左右各１個		
確保	室内鏡		操縦手席付近に１個設ける。		
装置	窓ふき器		ワイパーブレード３個付き　電動リンク式３位置（LO.HI.INT）		
	洗浄液噴射装置		３個　窓ふき器連動式		
計器盤			速度計，水温計，燃料計，警告灯，指示灯，シフトポジション表示装置などを設ける。		
附属装置			1　ピントルフック及びブレーキ用エアカップリング[a)]は，車両の後端に取り付けるものとし，1　t級トレーラのけん引ができる構造とする。 　なお，ピントルフックは，安全ピンを有する可動式のものとし，また，車両の後端は，トレーラの回転角が規制できる構造とする。 2　燃料携行缶[b)]１個を収納できる取付具を，左側側面部に設けるものとする。 3　タイヤチェーン収納具を，左右両側面部に各１個設けるものとする。 4　７極電線カップリング[c)]のソケットを，車両の後端付近に取り付けるものとする。 5　電源供給用ソケットは，調達要領指定書によって指定する場合を除き，助手席下部付近に取り付けられる構造とする。		

表5－構造（続き）

項目	規定
附属装置	6　ラジエータカバーをラジエータの前部に取り付けるものとし，収納は巻き上げ式とする。 7　洋形おの[d]，ショベル[e]及びバチツルハシ[f]の収納具は，車両右側側面部に設けるものとする。 8　前照灯及び車幅灯には，ライトガードを取り付けるものとする。 9　収納式リヤステップを車両後部に取り付けるものとする。 10　アンダープロテクタを車両前部下面に取り付けるものとする。 11　小銃保持具を操縦手席後部及び助手席後部に取り付けるものとする。 12　機関銃の車載銃架が取付けできるものとする。 13　輸送機による空輸及びプラットホーム投下に必要な器材の取付け並びに大型ヘリコプターへの搭載及び懸吊空輸が可能な構造とする。 14　無線機［ＪＶＲＣ－Ｆ３００[g]及びＪＶＲＣ－Ｆ２０[h]］及び**ＧＳ－Ｃ２１４４８０**の車両無線機の架台取付座を助手席の付近に設けるものとする。 15　無線機用ターミナルボックスを無線機用架台取付座付近に設けるものとする。 16　**ＧＳ－Ｃ２０４４９２**の車両無線機空中線の無線機用アンテナブラケット１個を取り付けるものとする。 17　荷台床面に，荷物固縛用フックを取り付けるものとする。 18　車両の側面及び後部に偽装網固定用のフックを取り付けるものとする。 19　助手席乗員用アシストグリップをインパネ面に取り付けるものとする。 20　助手席前側のリレーパネル部に保護カバーを取り付けるものとする。 21　冷房器が取り付けられる構造とする。

注[a]　**ＪＩＳ Ｄ ６６０５**

[b]　**ＤＳＰ Ｚ １００５**

[c]　**ＪＩＳ Ｄ ６６０６**の７ＴＳ－１

[d]　洋形おの，頭部重量約１．８ ｋｇ，頭部寸法約１３０ ｍｍ（刃先）×１７０ ｍｍ，柄の長さ約９００ ｍｍ

[e]　**ＪＩＳ Ａ ８９０２**のショベル，丸形，２番

[f]　バチツルハシ，頭部重量約２．５ ｋｇ，頭部全長約６００ ｍｍ，柄の長さ約９００ ｍｍ

[g]　制式要綱　**Ｇ ２０５１**のＪＶＲＣ－Ｆ３００

[h]　制式要綱　**Ｇ ２０５１**のＪＶＲＣ－Ｆ２０

表6－試験方法

項目			試験方法	判定基準
構造			―	2.3.1による。
形状			目視による。	2.3.2による。
寸法・質量			空車状態の車両の全長，全幅，全高，軸距，輪距（前後）及び最低地上高の寸法並びに空車状態の車両質量について，計測器を使用して計測する。	2.3.2及び2.3.3による。
外観			目視による。	2.4.1による。
最大安定傾斜角			空車状態で車両を傾斜台に載せ，車両を右側及び左側に傾けたときの安定度を調べる。 なお，同一名称及び同一型式として，官側の完成検査を合格している場合は，省略することができるものとする。	2.4.2による。
走行性能	運行性能		ＪＩＳ Ｄ １０２２及びＪＩＳ Ｄ １０１８による。最大積載状態で２００ ｋｍ以上走行し，その間各装置の機能，作動，漏れ，亀裂，破損，異音，過熱などを調べる。 なお，この試験には，最大積載状態で起伏凹凸のある場所を約１０ ｋｍ走行する不整地試験を含むものとする。	
	最小旋回半径		空車状態で，かじ取ハンドルを右又は左に最大に操作して，低速で旋回した場合における，最外側のわだちの中心点の軌跡の半径を測定する。	
	渡渉能力		最大積載状態で，河底堅硬な静水中を走行して調べる。 なお，同一名称及び同一型式として，官側の完成検査を合格している場合は，省略することができるものとする。	
	航続距離		平均燃料消費率×燃料タンク容量による計算値とする。	
	定地試験	速度計目盛調べ	ＪＩＳ Ｄ １０１１による。	
		燃料消費率	ＪＩＳ Ｄ １０１２による。	
		ブレーキ装置性能	主制動装置及び駐車ブレーキは，ブレーキテスタによる試験を実施し，制動力が保安検査基準に適合していることを確認する。ただし，ブレーキテスタを用いて試験することが困難であるときに限り，走行試験等の適切な方法によって制動力を確認する。 駐車ブレーキは，最大積載状態で４０ ％こう配（tanの値）の平坦な乾燥したコンクリート又は同等の摩擦係数を持つ路面での停止状態を調べる。 なお，同一名称及び同一型式として，官側の完成検査を合格している場合は，資料の提示にかえることができるものとする。	
		加速能力	ＪＩＳ Ｄ １０１４による。	

表6－試験方法（続き）

項目			試験方法	判定基準
走行性能	定地試験	惰行能力	ＪＩＳ Ｄ １０１５による。	2.4.2による。
		最高速度	ＪＩＳ Ｄ １０１６による。	
		登坂能力	ＪＩＳ Ｄ １０１７による。	
		最低速度	最大積載状態で，舗装路面上を４ ｋｍ／ｈ以下の速度で１０分間以上連続運転し，各部分の低速に対する作動状況，安定度などを調べる。	
		騒音	訓令による。 なお，同一名称及び同一型式として，官側の検査によって，成績良好な場合は，資料の提示に代えることができるものとする。	
		排気		
路外走行性能	軟弱地克服能力		**表10**の計算式によって算出するものとする。	
	超ごう（壕）能力		路面に対しほぼ直角なごう（壕）を挟んだ水平の路面で，最大積載状態の車両をごうに対し直角に正対させた後，変速機を最低速度段にして，最低速度でごう（壕）を乗り越えられるかを調べる。 なお，同一名称及び同一型式として，官側の完成検査を合格している場合は，省略することができるものとする。	
	超堤能力		路面に対しほぼ直角，平行の堤で，最大積載状態の車両を堤に対し直角に正対させた後，変速機を最低速度段にして，最低速度で堤を乗り越えられるかを調べる。 なお，同一名称及び同一型式として，官側の完成検査を合格している場合は，省略することができるものとする。	
機能			運行試験による。	
接近角			図面上において調べる。	
背離角				
塗装			目視による。	2.5による。
製品の表示				2.6による。
標識				2.7による。

表7－携行工具

名称		数量	注記
ねじ回し[a)]	５．５×７５	1	ＪＩＳ Ｂ ４６０９のねじ回し　普通型　強力級
	８×１５０	1	
十字ねじ回し[a)]		1	ＪＩＳ Ｂ ４６３３の十字ねじ回し　Ｈ型２番　１００普通型
モンキレンチ[a)]		1	ＪＩＳ Ｂ ４６０４のモンキレンチ全鍛造品　強力級２５０ ｍｍ
スパナ[a)]	１０×１２	1	ＪＩＳ Ｂ ４６３０のやり型両口スパナ
	１２×１４	1	
	１７×１９	1	
タイヤゲージ[a)]		1	ＪＩＳ Ｄ ８２０１の自動車用タイヤゲージ相当品　棒状指示式（高圧用）
コンビネーションプライヤ[a)]		1	ＪＩＳ Ｂ ４６１４のコンビネーションプライヤ　２００ｍｍ
ラチェットレンチハンドル		1	差込み角　９．５ ｍｍ
ソケットレンチ		1	口径１２ ｍｍ　６角
工具袋		1	上記の工具を収納できるもので，生地は，帆布製　ＯＤ色とする。
ホイールナットレンチ		1	―
ホイールナットレンチバー		1	―
注[a)]　ＪＩＳ規格を標準とし，同等以上の製品でも可能とする。			

表8－附属品

名称	数量	注記
消火器	1	粉末消火器，ABC・1.0 kg加圧式・自動車用（消防法の規格適合品）とする。ただし，包装は，除くものとする。
非常信号灯	1	国土交通省保安基準適合品，乾電池式（単３アルカリ乾電池）懐中電灯兼用式，ミニチュアバルブ（2.5 V以上，0.3 A），肩掛けフック付き
マッドガード	１式	車体後部左右(取付具を含む。)

表9－予備品

名称	数量	注記		
電球	1組	ＪＩＳ Ｃ ７５０６－１の自動車用電球	JA24 V 75/70 W	1個
			A24 V 35 W	1個
			A24 V 25/10 W	1個
			A24 V 25 W	1個
			A24 V 12 W	1個
			24 V 5 W (R5 W)	1個
		—	24 V 6 W	1個
収納箱	1	上記部品を収納できるもの		
ヒューズ	1組	１５ Ａ 1個	ヒューズボックス内に収納	
		１０ Ａ 1個		
		５ Ａ 1個		

表10－軟弱地克服能力計算表

項目	
車両総重量（ＧＶＷ）（ｌｂ）	
エンジン馬力（ＰＳ）	
最低地上高（ｉｎ）	
タイヤサイズ	
タイヤ幅（ｉｎ）	
ディスク径（ｉｎ）	
タイヤ係数（A）	Ａ＝１．２５×タイヤ幅／１００
重量係数（B）	３５ ０００ ｌｂ以上 ： １．１ １５ ０００ ｌｂ～３５ ０００ ｌｂ ： １．０ １５ ０００ ｌｂ以下 ： ０．９
クルーザ係数（C）	Ｃ＝１．００
車輪係数（D）	Ｄ＝ＧＶＷ／(車輪数×１ ０００)
クリアランス係数（E）	Ｅ＝最低地上高／１０
エンジン係数（F）	トン当たり馬力 １０以上：１．０， １０以下：１．０５
接触係数（G）	Ｇ＝ＧＶＷ／Ｔ，Ｔ＝タイヤ幅×ディスク径×タイヤ本数
伝導係数（H）	流体 １．０，機械１．０５
機動係数（M）	０．６｛[（Ｇ×Ｂ）／（Ａ×Ｃ）＋Ｄ－Ｅ]×Ｆ×Ｈ｝＋２０
コーン指数（L）	Ｌ＝０．４６ Ｍ＋２５